平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	33120
政策名（章）	第3章　利便性の高い公共交通網の確立をめざします	評価担当局	都市建設局
基本施策名（節名）	第1節　利便性の高い公共交通網の確立	施策所管課	都市交通計画課
施　策　名	利便性の高い公共交通網の整備	課長名	石川敏美

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

バスや鉄道など身近な交通機関の充実に努めるとともに、新しい交通システムの導入に向けた検討を行う。　また、津久井地域における生活交通確保路線を維持するとともに、交通不便地区へのコミィニティバスの導入など、公共交通網の維持、拡充を図る。

・バス乗り継ぎ施設整備事業
・コミュニティバス運行事業、生活交通確保事業
・新しい交通システム推進事業

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	376,027	119,868	
人件費	41,136		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	564	170	
合計	417,163	119,868	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

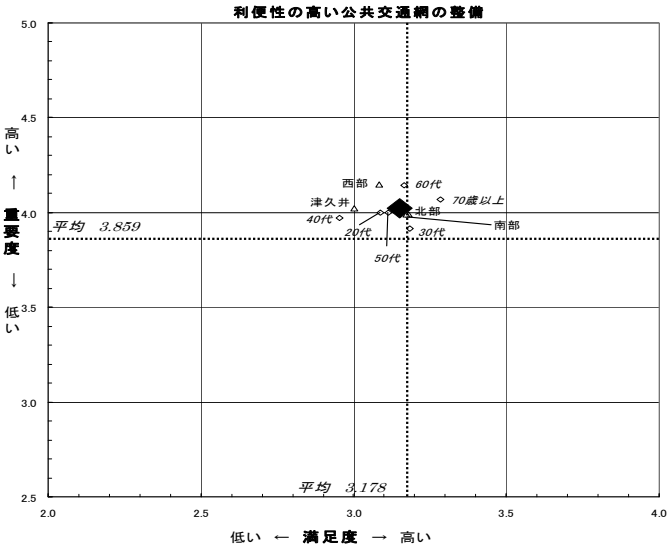
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	コミュニティバス収益率	営業収益／目標値（経常経費×50%）×100	コミュニティバス継続判断基準で定めた、運賃収入が車両償却費を除いた経常経費の50%以上となることを目指す。
指標2	バス乗り継ぎ施設整備事業の用地取得率・整備率	用地取得率・整備率	・用地取得H18～H20（H20：取得率100%） ・整備H21～H22（H22：整備率100%）
指標3	生活交通確保路線収益率	収益率 営業収益／目標値（経常経費×55%）×100	市費負担無く、国・県補助のみでの運行が可能となる、経常収益率が11/20（55%）を目指す。
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	30.2	50.0	48.8	50.0		50.0		50.0	
事業費/人員										
指標2（単位：%）	H17	0.0	50.0	23.5	100.0		50.0		100.0	
事業費/人員										
指標3（単位：%）	H17	33.8	55.0	33.5	55.0		55.0		55.0	
事業費/人員										
指標4（単位：%）										
事業費/人員										
指標5（単位：%）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.151で121施策の中で59番目。
〇重要度は4.023で38番目である。
〇改善要望度は0.1351で39番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、30代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		4	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	市域の拡大に対応したバス路線網の再構築
解決策	バス交通基本計画の策定に向けた取組みを推進するとともに、新しい交通システムの推進や、津久井地域のコミュニティ交通の導入検討を行う。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

指標1は、客観性があり、市民の目からも解りやすい。	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

利便性の高い公共交通網の整備

コード	33120

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
~~都市交通計画課~~	~~公共交通計画関連事業~~					9	0.01	100	181
~~国県道対策室~~	~~相模原津久井広域道路及び国道413号整備促進協議会~~								0
~~国県道対策室~~	~~首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会~~								0
~~都市交通計画課~~	~~リニア中央新幹線整備促進事業~~					8	0.07	263	827
都市交通計画課	駅舎自由通路等維持管理費	27,140	23,021	23,021		3	0.07	15,766	16,330
都市整備課	駅周辺施設維持管理事業	2,672	2,690	2,690		4	0.20	11,621	13,231
~~都市交通計画課~~	~~相模線複線化等促進期成同盟会負担金~~					再	0.30	100	2,515
~~都市交通計画課~~	~~鉄道輸送力増強促進団体経費~~					再	0.04	396	718
~~都市交通計画課~~	~~相模線沿線魅力アップ推進会議~~					10	0.01	100	181
~~都市交通計画課~~	~~バス交通対策推進事業~~					6	0.08	6,543	7,187
~~都市交通計画課~~	~~バス活性化事業~~					7	0.03	4,860	5,102
都市交通計画課	コミュニティバス運行事業	26,569	33,000	33,000	1	2	0.19	15,209	16,739
都市交通計画課	バス乗り継ぎ施設整備事業	3,180			2	5	0.11	8,589	9,475
~~都市交通計画課~~	~~新しい交通システム検討事業~~					再	2.00	12,380	28,480
~~都市交通計画課~~	~~南橋本駅周辺交通施設整備事業~~	—				1	2.00	300,100	316,200
都市交通計画課	バス交通関連施設維持管理費	3,280	2,678	2,678					0
都市交通計画課	生活交通確保事業		85,017	85,017	3				0
都市交通計画課	生活交通確保対策補助金	41,657			3				0
小田急多摩線・新交通推進課	新しい交通システム推進事業	15,370	48,000	42,000					0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		119,868	194,406	188,406			5.11	376,027	417,163